



Report 4 「住宅デー」で修繕ボランティア 広島県建設労働組合第12地域連合庄原が奉仕活動

全国統一「住宅デー」の6月25日を中心に、全国



▲本棚を修理する組合員の皆さん

各地で建設労働組合による技術奉仕活動が行われました。

市内では6月21日から25日にかけて、広島県建設労働組合第12地域連合庄原の組合員46人が、各保育所、子育て支援センター、小中学校、一人暮らしの高齢者宅を修繕しました。

美古登小学校では、8人の組合員が訪れ、傷みが目立っていた木製遊具や本棚を手際よく修理。まるで新品のように生まれ変わりました。

同小学校の和田眞理子校長は「的当てをきれいに直していただき、また、本棚に大きな本も入るようになり喜んでます。毎年、皆さんのおかげで本校の施設も充実してきており、大変感謝しています」とお礼の言葉をかけていました。

Report 5 自己記録に挑戦！ 第19回庄原市小学校陸上競技記録会

庄原市小学校陸上競技記録会が6月21日、上野総合公園陸上競技場で行われ、昨年度を上回る市内の小学生598人（4年～6年の希望者）が参加しました。

この記録会は、児童の体力・競技力の向上や心身の練磨育成を図ることを目的に開催されており、今回で19回を数えます。

当日は好天の下、11種目が行われ、選手たちは自己記録に挑戦。全力で頑張る姿に会場からは熱い声援が送られていました。

なお、大会結果（各種目第1位）は次のとおりです。※カッコ内は学年。

- 男子4×100mリレー
山内A
奥 優一 (5)
池田 友樹 (5)
道下 黎哉 (5)
山本 陸哉 (6)
●女子4×100mリレー
西城A
竹森 理紗 (6)
奥原乙歩百 (6)
丹波 慶美 (6)
守長 沙奈 (6)
●混成4×100mリレー
山内A
松川 晟夕 (4)
稲垣 帆乃 (4)
松川 瑠華 (4)
武田志央里 (4)
- 男子100m
山本 陸弥 (山内小6)
- 男子80mハードル
田邊 勇貴 (総領小6)
- 女子100m
持田 芽衣 (粟田小6)
- 女子80mハードル
永井 晴奈 (永末小6)
- 男子800m
石妙 直樹 (永末小6)
- 男子走幅跳
松浦 正樹 (永末小6)
- 女子800m
谷本 楓 (東城小5)
- 女子走幅跳
永井 晴奈 (永末小6)



▲記録会の様子

Report 6 無数の蛍に出会う夏夜 総領保育所ほたる見コンサート

総領保育所で6月20日、西城町在住のアコーディオン奏者古川由紀さんを招いてコンサートが開催さ



▲親子でうちわ作り

れ、園児や保護者、地域住民など113人が参加しました。

「みんなで歌おう」を合言葉に、古川さんのアコーディオン演奏に合わせ「手のひらを太陽に」や「山の音楽家」など全10曲を全員で元気よく合唱しました。

コンサートの後は、親子でうちわ作りに挑戦し、暑さを吹き飛ばすオリジナルの素敵うちわを完成させました。

午後8時過ぎには保育所前の田総川沿いを散策。たくさんの蛍に出会った園児からは「光った！」「きれい！」などの歓声が飛び交いました。蛍の織り成す幻想的な空間で、初夏のひとときを親子で楽しんでいました。

Report 1 地元ってすごい！ふるさとの魅力再発見 東城小学校PTC活動



▲組立工程の説明を熱心に聴く児童たち

東城小学校5年生46人と保護者、教員が6月26日、PTC活動で東城検定と工場見学を行いました。

はじめに、東城の魅力再認識、PRしようとして作られた問題集を利用した「東城検定」が行われ、文化財や東城出身の人物に関する問題など20問を親子で解きました。

工場見学では、地元東城で創業の削岩機メーカー「ヤマモトロックマシン(株)」を訪れ、「ひろしまたてものがたり100セレクション」に認定された趣のある工場の中で、社員から削岩機の組立工程などの説明を受けながら実際の作業の様子を間近で見学しました。

児童たちは「迫力があってすごかった」「小さな部品まで丁寧に作っていることに驚いた」と興奮気味に話していました。

Report 2 花壇の手入れで心を育む 高野中と老人クラブが共同でボランティア活動

高野中学校3年生17人が6月20日、荒神谷、蓬萊会の各老人クラブの皆さんと一緒に、花壇整備のボランティア活動を行いました。

長年続くこの活動は、近い将来地域の担い手となる中学生に、自ら地域づくりに参加することの楽しさを体験してもらう場にもなっています。

当日は朝から暑くなりましたが、生徒たちは老人クラブの皆さんに、鍬の使い方や花の植え替え方法を教えてもらいながら作業に励みました。作業後は、きれいになった花壇の脇で談笑しながら、満足そうに汗をぬぐっていました。

参加した生徒の柳迫彩さんは「この体験を通してボランティアの素晴らしさがわかった。これからも色々なボランティアに参加してさまざまな人と触れ合っていきたい」と話していました。



▲指導を受けながら作業する生徒たち

Report 3 ご当地ヒーローが子育て応援 “子育て講演会&ヒーローショー”



▲頑張れ！メーブルカイザー！

〇和自治振興区、〇和子育て支援センターが共催する「子育て講演会&ヒーローショー」が7月6日、〇和自治振興センターで行われ、親子連れなど約50人が来場しました。

広島県のご当地ヒーロー“安芸戦士メーブルカイザー”が「育メンヒーローの子育て講演会」と題して講演。児童虐待防止、苦勞した子ども時代、父として家族の思いなど、子育て奮闘記を熱く語りました。

講演後の「ヒーローショー」では、子どもたちの笑顔を守るためメーブルカイザーが悪と奮闘。子どもたちから「メーブルカイザーがんばれ！」「負けるなメーブルカイザー！」と声援が飛び交っていました。

Report 7 自分の思いを英語に乗せて 第10回中学生による英語スピーチ大会

庄原ロータリークラブ、しょうばら国際交流協会、庄原市教育委員会の3者が共催する「第10回中学生による英語スピーチ大会」が6月8日、庄原市ふれあいセンターで開催されました。

市内7中学校から11人の生徒が参加し、自分の体験を通してより深く考えるようになったことや、家族や地域への思い、日頃感じていることなどについて、英語でスピーチを披露。家族や地域、学校の教諭に見守られる中、堂々と発表していました。

市内の学校に勤務するALTにより審査が行われ、3人の生徒に優秀賞が贈られました。

- 優秀賞 木場 菜月さん（庄原中3年）
後藤 新奈さん（東城中3年）
安広 ゆいさん（庄原中3年）



▷みんなで記念撮影

Report 8 タマネギの輪、地域の和 八銚自治振興区タマネギ祭



△タマネギの大きさ比べで優勝した長谷川さん

地域ぐるみでタマネギ生産に力を入れている八銚自治振興区が7月6日、八銚自治振興センターで「タマネギ祭」を初開催しました。

当日はおおよそ200人が来場。たまねぎ5つの重さを競うメインイベント「タマネギの大きさ比べ」では、区民29人が自慢の手作りたまねぎを出品。2,970gで優勝した長谷川義憲さんは「妻が丹精こめて作ったタマネギ。賞金の地域振興券は持って帰って妻に。また機会があればがんばって出品したい」と意気込んでいました。

もうひとつのメインである「タマネギ料理コンテスト」には、西城町全体から計13品が出品。1位の大変大変よかったで賞を獲得した「玉ねぎの炊き込みごはん」を始め、個性豊かな料理が並びました。

振興区の小笠原洋行会長は「たまねぎ生産の取り組みは販売目的ではなく、栽培を通して地域の和を育む活動であり、その意味では今回の催しは非常に成果があった。今後も地域の皆さんが作ったタマネギを振興区を通して販売し、地域の連帯感を強めたい」と話していました。

Report 9 世代を超えて多くの人々がふれあう 比和たなばたまつり

7月7日の七夕の日、比和自治振興センターで比和のつどい「たなばたまつり」が開催されました。

梅雨の最中であいにくの雨模様でしたが、会場にはこの日を楽しみにしていた地域の方約200人が来場し、比和保育所園児や小学生が手遊び歌やよさこい踊り、比和中学校の生徒が合唱などを披露し、観客も子どもたちと触れ合いながら楽しみました。

子どもたちの元気な姿に「こうやって子どもたちと触れ合う機会はなかなかないので元気をもらえた」「子どもたちの笑顔に癒やされた」などといった声も聞かれ、笑い声の絶えない一日となりました。



△地域の皆さんと触れ合い